

単元案の概要

単元名: Discover 台湾					
科目名	作文／会話	作成日	2016年10月1日	作成者	中村ちひろ、松岡里奈、真継愛夫、宮崎玲子、劉好殊
学年／年次	台湾の大学3年生	クラス人数	主専攻20人	使用教材	・活動概要資料 ・雑誌、WEB等のレアリア
話題分野	交通と旅行、自然環境、地域社会と世界、衣とファッション、趣味と遊び	言語レベル	2～3	必要時間数	120分×23コマ(作文と会話の駒の合計)
単元目標					
1. 日本人に知られていない台湾の魅力を記事(グループで4ページ)に書いて、発信できる。 2. 自分たちの記事を台湾で発行されている日本語雑誌に採用してもらえるようなプレゼンができる。(コンペティションの結果優勝グループは雑誌掲載、他のグループは学科HPの活動ページに掲載)					
コミュニケーション能力指標					
【交通と旅行】 3-d. 旅行について、簡単な紀行文を書いたりできる。 3-e. オススメの旅行先について、理由を含めて語り合うことができる。 (他、2-j, 3-a) 【自然環境】 2-f. 自分の住んでいる地域にある景勝地を口頭で紹介できる。 (他、2-b, 2-d) 【地域社会と世界】 2-a. 自分たちの住んでいる町や都市について紹介する簡単な資料を作ることができる。 (他、2-b, 3-a, 3-c) 【衣とファッション】 3-b. 今、自分たちの間で流行しているファッションについて、写真などを用いて、簡単に紹介することができる。 【趣味と遊び】 2-b. 休みの日にしたことについて、感想を含めて、口頭で伝え合うことができる。 2-c. 映画上映やイベント公演について書かれた情報を、読んで理解できる。 2-e. 休みの日によくすることについて、感想を交えて会話できる。 2-f. 好きなものや趣味が何か、口頭でまたは書いてやりとりできる。 3-d. 自分の周りではやっていることやものについて、写真や実物を使いながら、口頭でまたは書いて紹介できる。 3-c. 趣味や習い事について、口頭で説明できる。					
学習活動の流れ					
語彙・表現習得活動			学習シナリオ		
			<場面状況> 台湾のある大学では、産学連携プロジェクトが行われており、その一環で、台湾で発行されている日本語雑誌社との取り組みが行われることになった。 <活動の流れ> 別添参照		
評価活動					
形成的評価			総括的評価 ※別途ルーブリックを作成してください		
①インタビューの原稿提出(会話授業第3週) ②レポート(作文授業第9回) ③記事の日本語チェック(作文授業第10回)			①インタビュー結果・テーマ発表(会話授業第6週) ②記事(グループ記事全4ページ分)＝成果物 ③記事のコンペティション(会話授業第15週)		

活動内容詳細

作文 120分×1 コマ		会話 120分×2 コマ	
1	オリエンテーション	オリエンテーション	★
2	★ (★=通常授業)	インタビュー準備	★
3	★	インタビュー練習 課題：街中で日本人旅行者にインタビュー	★
4	★	発表準備 (+大学に来ている日本人交換留学生)	★
5	★	発表練習 (+大学に来ている日本人交換留学生)	★
6	★	発表「日本人旅行者の興味と行き先」 観客：教師・日本人交換留学生	★
7	① 記事にするテーマ・内容の熟考 ② インタビュー結果や、日本の台湾旅行に関する WEB サイト、	発表の振り返りー言語・方法・技術面においてー	★
8	雑誌、ニュース、新聞などで、既に取り上げられているものは何かを分析	★	★
9	→①と②からテーマ決定 ・各地に取材 課題：1) 分析結果レポート 2) 各自の記事作成	★	★
10	グループ内で記事の共有 課題：自分で日本語母語話者に依頼して記事の日本語チェックをしてもらう	★	★
11	グループで記事のレイアウト決定 課題：取材先に掲載内容について確認を取る	★	★
12	練り直し	発表の PPT 作成 (+大学に来ている日本人交換留学生)	発表の原稿作成 (+大学に来ている日本人交換留学生)
13	グループで記事を完成させる	発表練習 (+大学に来ている日本人交換留学生)	発表練習 (+大学に来ている日本人交換留学生)
14	★	発表練習 (+大学に来ている日本人交換留学生)	発表練習 (+大学に来ている日本人交換留学生)
15	★	記事のコンペティション 観客：台湾人雑誌編集者、台湾在住日本人数名、教師、日本人交換留学生	振り返り (+大学に来ている日本人交換留学生)

3×3+3 分析表

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> インタビューで使う日本語がわかる 発表で使う日本語がわかる 記事にそぐう日本語表現がわかる 各グループの内容に沿った語彙がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾についての日本人の関心がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾社会の一員としての自覚を持ち、さらに、台湾と日本をつなぐ人材となる意識をもつ 記事制作ソフトの使い方が分かる
使える	<ul style="list-style-type: none"> 既習の日本語でインタビューができる 既習の日本語で発表ができる 記事にそぐう日本語表現が使える 各グループの内容に沿った語彙が使える 教師以外の日本語母語話者に日本語添削の依頼ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の対人的コミュニケーション文化に配慮してインタビューができる 日本人の関心をもとに、台湾を紹介することができる 日本人が知っている台湾と、台湾人の知っている台湾の比較分析ができる 台湾の魅力を再認識する 	<ul style="list-style-type: none"> 雑誌に掲載する記事を書いて発信できる 記事制作ソフトを使用できる ICT を利用して情報を集めることができる PPT を利用してプレゼンテーションができる
つながる	<ul style="list-style-type: none"> 街中の日本人旅行客と日本語でインタビューを通してつながる 教師以外の日本語母語話者と日本語添削依頼を通してつながる 発表を通して在住日本人とつながる 		<ul style="list-style-type: none"> 雑誌に掲載された記事を通して台湾在住日本人とつながる 学科 HP に掲載された記事を通して世界中の日本語話者とつながる 雑誌掲載を通して経済活動に加わる
三連携	<p>【学習者】雑誌掲載という目標を持つことによる意欲の向上、日本語添削を教師以外の他者に依頼することを通して自律学習を目指す</p> <p>【教室外】台湾在住日本人、雑誌編集者、日本人旅行客、日本人交換留学生、添削を依頼する日本人、メディア（雑誌・インターネット等）</p> <p>【他教科】作文の科目と会話の科目が連携した活動、パソコンソフトの運用</p>		

総括的評価のルーブリック

—記事編（成果物）※グループごとの評価。グループ記事全 4 ページ分対象—

→レベル	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
↓評価要素				
読者を意識した内容	台湾在住日本人にとって、魅力あふれ実際に行ってみたい、体験してみたいと思える記事内容である(8点)	台湾在住日本人にとって、まだ知らない、興味のある内容が書かれている(6点)	台湾在住日本人にとって、一部既に知っていることが書かれており独自性に欠けている(4点)	台湾在住日本人にとって、一貫してありきたりの内容であり、全体として独自性に欠けている(2点) コピペの箇所がある(0点)
4 ページを通したまとまりのある構成	記事全体で一貫した内容で書けており、読者を惹きつける工夫がなされている	記事全体で一貫した内容で書けている	一部テーマとずれた箇所がある。または、まとめがないなどの不足部分がある	内容が一貫していない。または、読みにくい構成になっている。
4 ページにわたる読者を意識したレイアウト	目を惹きつけるような工夫があり、読者にとって非常に読みやすく構成されたレイアウトである	全体として概ね読みやすいレイアウトである	レイアウトが原因で読みにくい、または、理解しにくい箇所がある	レイアウトが原因で、読みにくく、読者を惹きつけようとする工夫もない

総括的評価のルーブリック
 —コンペティション編 ※グループごとの評価—

→レベル	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し! (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
↓評価要素				
発表で使用する PPT のでき	見やすく、発表内容の理解を助けるPPTであり、効果的に興味を引く工夫もなされていた	見やすく、発表内容の理解を助けるPPTだった	一部、見にくいスライドがあり、理解の妨げになった。または、発表原稿がそのまま書かれたスライドもあった	理解を妨げるスライドが多かった。または、発表原稿をそのまま書いただけのスライドばかりだった
発表原稿のでき	グループ記事の内容をうまく盛り込み、記事の良さを効果的に語れている	グループ記事の内容を過不足なく盛り込めており、記事の良さが分かる	グループ記事を発表するのに内容に一部不足、過剰な点が見られる	グループ記事をうまく盛り込めておらず、全体像が見えにくい
発表原稿の再現	発表原稿に基づいて、流暢に、かつ効果的に発表し、記事のプロモーションに成功している	発表原稿に基づいて、流暢に発表できている	練習が足りず、流暢に発表できていない	ただただ原稿を読み上げている
声の大きさ	グループ全員が聞き手に内容がはっきりと伝わる声の大きさだった	グループ全員の言っていることは概ね分かった	発表内容が聞こえない部分があった	声が小さくて、発表内容がほとんど聞き取れず、ほとんど理解できなかった
協力度		グループの全員が協力してバランスよく担当して発表していた	グループでの分担に明らかに偏りがあった	